

青沼

青沼（青い沼）は、磐梯山が 1888 年に噴火し地滑りによって近くの川がせき止められた結果作られた約 30 の浅くカラフルな沼と湿地が集まった五色沼の中で最も美しい沼の 1 つです。

青沼の深い青色は、夏の緑そして秋の紅葉のそれぞれと、非常に美しいコントラストをなします。

青沼の上は植物が張り出しており、植物の沼に浸かった部分は白くなっているように見えます。

これは植物が、噴火中に堆積した水中の酸性化合物であるケイ酸アルミニウムによってコーティングされているためです。ケイ酸アルミニウムは、五色沼の他の沼にも存在しますが、青沼ほど濃度は高くありません。

青沼は酸性度が高いため、プランクトンや魚は生息していませんが、沼の底にはウカミカマゴケと呼ばれるコケが広範なマットを形成しています。